

# 重春まちづくり 広報

発行/重春まちづくり協議会  
〒677-0056 西脇市板波町245  
TEL.0795-23-5653 FAX.0795-23-5653

2022  
年度版



新しい年、朝の5時半すぎ、まだ薄暗いなかを皆様と矢筈山の登山路を登って行く！

それぞれに期待と夢に向かって、今年が良き年になることを胸に！山頂まで…

出発して40分、山頂の東屋は多くの方々で大賑わい！！

待つこと1時間、東の山頂から美しいオレンジ色の太陽が輝きはじめ、徐々にその姿を見せる、神々しい「初日の出」を拝むことができました。今年の御多幸を祈る！

重春地区 代表区長 高瀬 克義

## 西脇工業高校、全国駅伝大会の出場お祝い

西脇工業高校が全国高校駅伝競走大会に男女で出場し、男子6位入賞、女子20位と健闘されました。これに先立つ12月13日に重春地区区長会でお祝いに行きました。

校長先生はじめ男女監督のお出迎えをいただき、区長会としてお祝い金をお渡しして全国大会の活躍を激励しました。

郷土の誇りとして、男女で全国大会に出場される様活躍されることを願っています！



# 「頼政まつり」催行(4/29)



この2年間、新型コロナの感染拡大により「頼政公の墓参と獅子王の奉供」のみが行われてきました。待ちかねた「頼政まつり」であったが、あいにくの雨模様！そのなかでまつりは、始められました。

高松町の区長の挨拶にはじまり、御来賓の方々紹介と挨拶があり、その後に墓参と奉供、今年度のまつりは、雨中での「墓参と獅子王の奉供」になりました。

続いて本堂前での「弓道演武」頼政公の礼射には、雨を避けるためにテントでの射場から、・・・

演じてくれた弓道部の射方には感謝！

続いて「よさこい踊り」雨は止まず、雨中の熱演に拍手をおくりました。

今年度の「頼政まつり」は、大変であったが、実施できたことが、有意義でありました。

頼政公も、喜んでおられる事でしょう！！



## 景観づくり

矢筈山は、重春地区のシンボルとなる標高360mの城跡がある山で、山頂からの眺望は素晴らしく「景観ビューポイント150撰」に選ばれています。

また、山の東面には黄銅鉱系の「矢筈鉱山」も存在して、鉱口やズリが残置しています。

矢筈山には愛好家も多く訪れて、その景観や癒し効果を楽しんで頂いている所です。

しかし、山・林を楽しんで頂くためには、登山路の維持、が重要であり、安全性を確保するために「矢筈の会」をはじめ有志の方々によって整備がなされております。

昨年10月5日(水) 午前中からメンバー12名の方が、登山路の階段の修理・草刈り・水除など、の作業をモクモクとされました。

お陰様で、安全で快適な登山路が確保されている事に、感謝をする次第であります。



矢筈山には「毎日登る、という方が多くおられ、5千回を超えられた方がおられ、「ふるさとの山」として親しまれております。

# 収穫祭



秋の深まった11月5日、晴天の土曜日に板波町の畑に、重春地区の多くの方々が集まって頂きました。

代表区長さんの挨拶に続き、畑に・・・今年は出来も良かったので、各町毎に畝を分散して、自然の恵みを体験するために、自分で掘ってもらいました。

ハタケでは・・・

「皆さんの熱心なこと、あちこちで聞こえる「採れた！！」の声

サツマイモを掘り上げた満足な顔が、輝いた。

道をはさんだ向かいの畑には、コスモスも満開になり、揺れる花々、見て・・・

楽しいときが流れた1日でした！！



## 平野町のコスモスづくり

今年も平野町で、滝野方面からの通学路の「景観づくり」として、実施して通学生などに楽しんで頂きました！



## 歳時記

### 正月行事「とんど」

今年の「とんど」は、暦の都合で1月8日の日曜日に板波町の児童公園で行われました。

かつては各町でも行われていたが、最近は実施される町が少なくなりました。

以前は「左義長・さぎちょう」とも言われ、小正月が過ぎた15日に、お正月のお飾りや書き初めを集めて行われる行事でした。

今年も「とんど」には、子供会の子もたちが町内をまわって、お正月のお飾りを集めて児童公園に持参しました。

公園には、町役員の方々と消防団の皆様によって青竹を多く並べて組んだヤグラに飾りなどをいれて燃やし、「無病息災や幸せ・書道の上達」を願った行事でありました。

最近は、実施する場所の問題やいろいろな事情により少なくなっている行事の一つです。

正月の伝統行事として、残して行きたいものです！



# 重春村の思い出

重春地区は、西脇市の南端に位置しており、明治22年(1889)の市町村制によって成立した「重春村」が原点で、それまでの大区・小区制からの変化によるものであります。

昭和27年4月の西脇市の成立とともに「重春地区」の行政区分となりました。

## 重春小学校の校歌のある「金光山」

昔、スクールソングとして歌った「金光山に朝がきて緑さやかな...」の歌詞にある「金光山」とは何処の山なのか?これについて聞かれたことがあり、調べてみました。その結果は、旧重春村役場の場所にあった「九品寺寺子屋」のお寺「金光山九品寺」の山号であったとの事であるが、正式なお寺の場所は解りませんでした。

## 重春村の「忠霊塔」

重春小学校の旧地の一角に今も所在しています。元小学校の講堂があった所の前と記憶しており、建てられたのは81年前の昭和17年1月であります。

## 矢筈鉱山



矢筈山の山頂の東山腹に存在していました。明治16年(1883)10月、民有地の千坪を「借地の願書」が出されており、開発主は「但馬国朝来郡生野口銀谷町の河村清助」で、銅鉱石の採掘でありました。

しかし周辺を調査してみても、大規模な稼業は見られません。

## 今年度の委員

- |               |          |      |                  |
|---------------|----------|------|------------------|
| ●和布町/藤井直也     | 竹岡 昭     | 山本治之 | ●高松町/三村 学        |
| ●和田町/村上典義     | 松家 修     |      | ●高田井町/藤原廣幸(会計監査) |
| ●板波町/藤原啓史     | 藤原孝三(会長) |      | ●谷 町/正井圭司        |
| ●平野町/吉田佳弘(会計) |          |      |                  |

## 編集

重春地区も平成20年(2008)1月「重春地区まちづくり計画」を策定して15年がたちました。その見直しの時期もあり、基本方針にそって検討しなければなりません。

## 後記

その為には、まちづくり委員の増員を図って進めて行かねばならないと考えております。来年度には、衆智を集める為に多くの方々の参加を期待しています。(文責 藤原孝)